

終助詞ワのアノテーションとガイドライン

渡邊花恋・秋根紗香・井坂春奈・金文慧・福田風子 (九州大学文学部)

原田祐介 (九州大学大学院人文科学府) ・上山あゆみ (九州大学大学院人文科学研究院)

概要

「わ」という語は、終助詞の「わ」、「～わ～わ」のように様々な用法を持っている。このような「わ」のさまざまな用法について、「驚き・程度の強調」、「理由・説明」、「関西弁」、「女性語」、「古典語」、「意見の強調」の6つに分類し、ガイドラインとフローチャートを作成した。実際にこのガイドラインとフローチャートに沿って、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)によってアノテーションを試み、カップ値を計算することで、ある程度信頼性のあるガイドラインが作成できたと結論づけた。

1. はじめに

ワという語は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)において、関西弁や女性語に付き、終助詞として用いられる一方、「～わ～わ」として使用される例もあり、その意味、機能は多義にわたっている。コーパスによる検索の有用性を高めるためには、これらの用法の違いがアノテーションによって適切に区別されていることが望ましい。そのためには、必要に応じて分類のガイドラインを作成することが有用である。本発表では、ワの様々な用法について分類ガイドラインを作成するにあたり、どのような問題があったかを明らかにした上で、今回作成した分類ガイドラインに基づいて行われた、実際のアノテーションの結果を述べる。

2. ワの分類ガイドライン

まずここで、ガイドラインを示し、それぞれの分類について、その特徴を述べる。以下、特に記載がないものは全て『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)からの引用である。

a	驚き・程度の	同じ形の言葉を繰り返す
---	--------	-------------

	強調	て、程度や量・頻度が予想外に多いことへの驚きを表す。 「AわAわ」の形。
b	理由・説明	後述の事態に対する理由や説明、または具体例となる複数の事態を累加的に列挙する。 「AわBわ」の形。
c	関西弁	関西弁(方言的)な用法。「～わな」、「～やわ」、「～んわ」の形が多い。
d	女性語	女性らしさ、上品さが加わる。 「～わよ」、「～だわ」の形が多い。 または上昇調のイントネーションを伴う。
e	古典語	古めかしい言い方をする。 「～わい」の形が多い
f	意見の強調	ある事象に対して持った感情や、自分の考えや判断を「わ」の前で述べて、その内容を強調する。

3. 代表的な例文と問題になりうる点

3.1. 「a.驚き・程度の強調」について

「a.驚き・程度の強調」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (1) 倉庫を色々と物色したらあるわあるわで、不用品とかオモチャとか

本とか服なんかをドンドン出品したら売れる…

(1)は「あるわ」を繰り返すことで、倉庫に想像以上に不用品があったことを強調するとともに、そのことに対する驚きを表す。

3.2. 「b.理由・説明」について

「b.理由・説明」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (2) こなすだけ仕事が増えるわ、責任を持たされるわ、でいいこと無いなど最近思えてきました。

(2)は「いいこと無いな」と思うようになった理由を「わ」の前で累加的に用いて説明している。この用法では、「わ」の前にくる言葉は異なっている。

3.3. 「c.関西弁」について

「c.関西弁」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (3) a. 昔、やくざの組員やったからなア、こんな黒い服が似合うんかもしれへんわ。
b. 気ィのよわいこと、いわんかて、よかったんやわ。

(3)a と(3)b ともに、文脈からも判断できるように、関西弁の語尾で用いられる「わ」である。主に、「～んわ」、「～やわ」、「～わな」の形であることが多い。

3.4. 「d.女性語」について

「d.女性語」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (4) a. 女の手帳なんかのぞくもんじゃないわよ。
b. 「それにしても、よく、正解をい当てられなかったわね。」

(4)a と(4)b ともに、上品で女性らしい印象を与える女性語の用法である。主に、「～わね」、「～わよ」の形であることが多く、上昇調のイントネーションを伴う。この分類では、主語を女性とは限定しない。

3.5. 「e.古典語」について

「e.古典語」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (5) 敵にうしろを見せてにげだすなどは、こいつは、いかにも近衛銃士のやりそうなことだわい。

(5)のように、古めかしい言い回しをする際の「わ」は古典語に分類される。主に「～わい」の形であり、主語が男性であることが多い。現代はあまり使われない。

3.6. 「f.意見の強調」について

「f.意見の強調」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (6) 前に、つき合った女、金沢出身やったもん。見るからに能登半島って感じで、きれいやったわ～。
(7) 「おれ帰るわ。」とってスンシンが立ち上がった。

(6)のようにある事象に対する感動・詠嘆などの感情を込めて強調する。また、(7)のように、「わ」の前に自分の考えや判断を述べ、その意見を強調する場合もこの分類に入る。

3.7. 問題点

今回の分類案の問題点としては、「c.関西弁」と「d.女性語」と「f.意見の強調」間でブレが生じることである。例文の中に分かりやすい表現や、情報があれば、スムーズに分類できる。分かりやすい例を用いると、「ですわ」は「c.関西弁」にも「d.女性語」にも使用される表現であるため、ブレが生じるものの一つである。

-
- (8) ほかの人と同じように二十四、五歳で結婚したかったからですわ。

(8)のように、どうしても文を読む人の解釈でイントネーションが変わり、それに応じて分類が変わってしまう、という問題点を解決するための検討が必要である。

4. アノテーション結果

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)から、書字形出現形が「わ」で、品詞の中分類が「助詞-終助詞」であるもの含んだ例文500件を抽出し、上記の分類ガイドラインにしたがって、実際にアノテーションを行ってもらった。九州大学文学部の分類に関与していない学生2人がそれぞれアノテーションを行い、その結果からカッパ値を計算したところ、約0.88となった。アノテータ間でぶれの少ない、ある程度信頼性のあるガイドラインが作成できたことになる。

今後、ずれの見られた「c.関西弁」、「d.女性語」、「g.主張・判断」を中心に、さらに検討を重ねていきたい。

参考文献

- 岡本牧子・氏原康子(2008)『くらべてわかる日本語文型辞典』,324-325.J リサーチ出版
- 日本語記述文法研究会(2008)『現代日本語文法 6 第11部複文』,278.くろしお出版
- 松崎彩子(2017)「終助詞「わ」の歴史的変遷について：後期江戸語から明治大正期を中心に」,『言語の研究』3号:1-3.首都大学東京